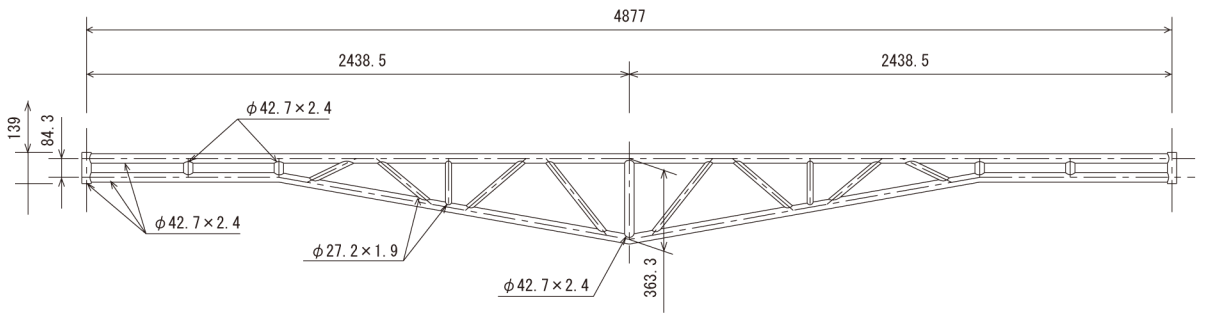
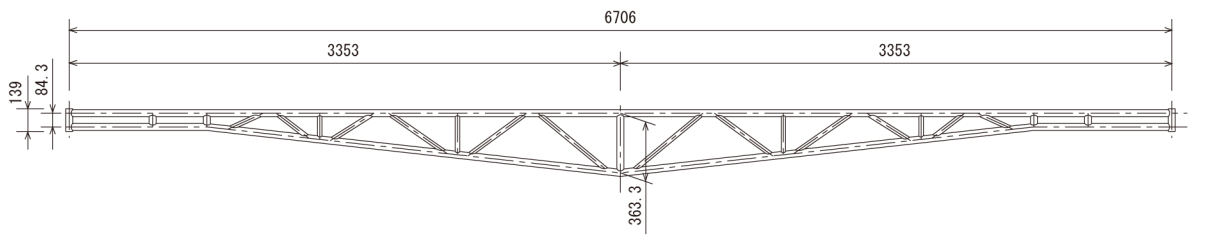
梁枠

※地域限定品についてはお問い合わせください。

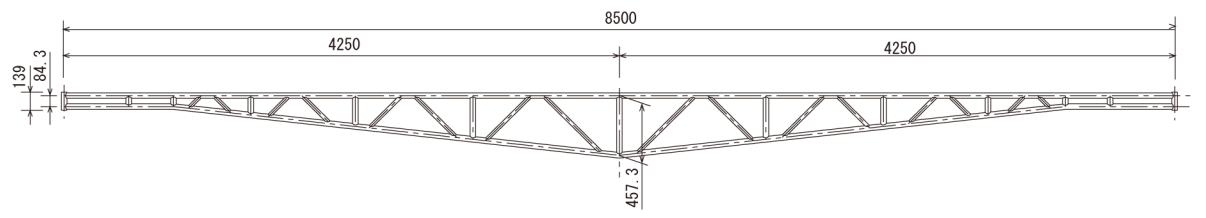
梁　枠　(2スパン用)	製品重量	梱包数(枠)
A148	28.2g	4



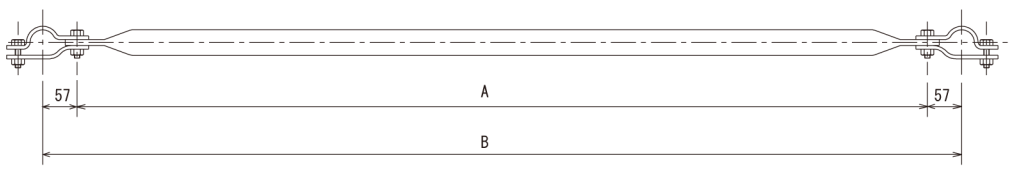
梁　枠　(3スパン用)	製品重量	梱包数(枠)
A147	38.8g	4



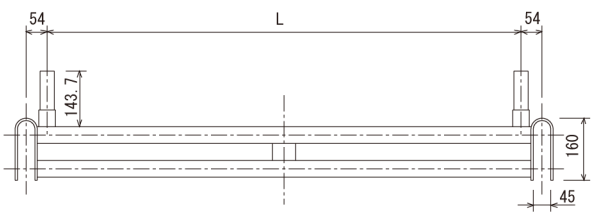
梁　枠　(4スパン用)	製品重量
A146*（地域限定品）	65.0g



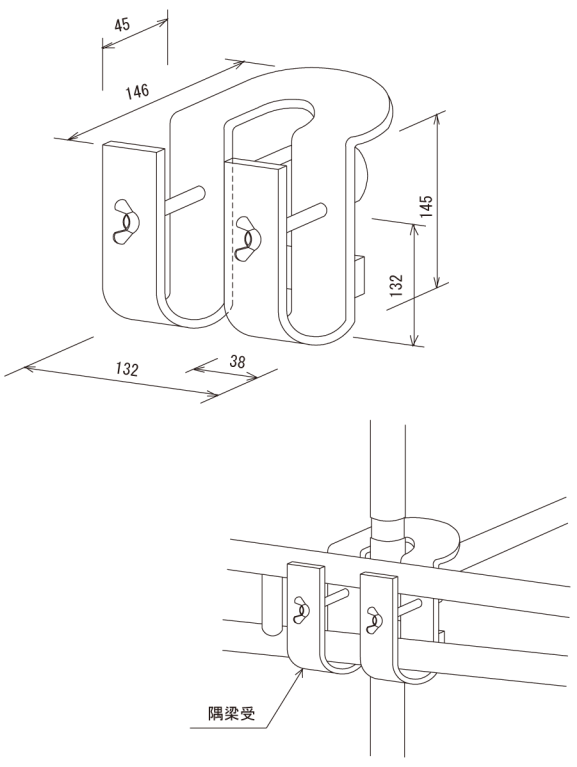
品　名	品　番	A寸法	B寸法	製品重量
方　杖	A1475（地域限定品）	1,410mm	1,524mm	4.8kg
	A1471	2,020mm	2,134mm	6.2kg



梁 渡 し	L寸法	製品重量	適用枠
A150	1,219mm	8.7kg	A4055B
A151	762mm	5.0kg	A2655A
A152	914mm	5.4kg	A3055A A3019
A153	610mm	4.7kg	A6155A



隅 梁 受	製品重量
A1453	2.5kg



●梁枠（A148, A147, A146）の使用基準及び注意事項

1. 梁枠を用いた開口部の寸法は幅4スパン以下、高さ3層以下とし、開口部端から外方へ必要とする枠組足場のスパン数は、梁枠の種類（梁枠を用いた開口部寸法）により右表に示すスパン数を必要とする。
   ※3スパン用及び4スパン用にあっては、これに難いときは梁枠の支持部の建枠に補強等の処置を講ずる。

梁枠の種類	開口部端の支持部から外方へのスパン数
1種（2スパン用）	1スパン以上
2種（3スパン用）	2スパン以上
3種（4スパン用）	3スパン以上

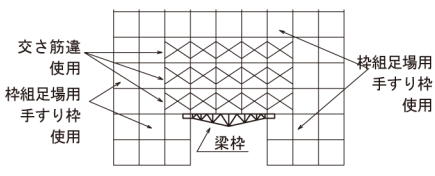
2. 梁枠を用いた開口部端より外方へ必要とするスパン数の枠組足場及び梁枠等で支持される開口上方の枠組足場については全スパン・全層にわたり両面に交差筋違を取り付け、且つ床付き布板を建枠の幅いっぱいに設けることとし、当該交差筋違及び床付き布板は決して外さないこと。

3. 梁枠と梁枠で構成される水平構面には梁渡し･床付き布板等で水平構を構成するとともに、全面に落下養生を兼ねた作業床を設けること。

4. 梁枠を取り付けたレベルで、梁枠を支持している建枠の脚柱に壁つなぎ又は控えを設けること。

5. 開口部の幅が3スパン及び4スパンの場合の梁渡しの取り付け作業に当たっては、方杖を設ける等の処置を講ずること。
   （組み立て中の梁枠のタワミを防止することで組立ての精度を上げ、組みずらさをなくす為）

6. 梁枠直上部及び梁枠のレベル上の両端それぞれ3層以内には枠組足場用手すり枠（H枠用の手すり枠等専用部材を使用する方式の枠組足場用手すり枠等を除く）を使用しない事。



7. 梁枠で構成された開口部上方の足場の全積載荷重は、9.800kN（1,000kg）以下とすること。
   ※建わく、交差筋違、床付き布板、脚柱ジョイント、アームロック、昇降設備、ネットフレーム、各種シート、防音パネル等の飛来落下防止設備及び、手すり等の墜落防止設備、梁枠、梁枠支持金具の自重は全積載荷重に含めない。

8. 梁枠から上方に組み立てる枠組足場の高さは、(社)仮設工業会発行『仮設機材認定基準とその解説』の梁枠の使用基準に基き使用されている場合、約25m（14層）を限度とする。

9. 梁枠上方の足場高さが25mを超える場合は、梁枠支持部の建枠の補強が必要である。

10. 梁枠を使った枠組足場の開口部は、梁枠支持部の建枠が許容荷重以内で使用されていることを確認する必要がある。
    (梁枠を支えている建枠の最下段に位置する建枠が梁枠本体を含めた自重及び作業荷重を含めた総積載荷重に対して許容荷重以内で使用されていること)